**環境ビジネスの海外展開についてのアンケート調査**

**～連携・パッケージ化による海外進出～**

平成26年10月

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　経済産業省中部経済産業局環境・リサイクル課

公益財団法人国際環境技術移転センター

|  |
| --- |
| **◆ご協力のお願いについて**　中部経済産業局では、中部地域における産業公害防止技術等の環境ビジネスに取り組む企業を対象に、国内外におけるビジネス拡大を総合的に支援する調査事業を平成24年度より展開しており、その実施を公益財団法人国際環境技術移転センター（三重県四日市市）に委託しております。 　中部経済産業局は包括的な支援活動の一環として、産業公害防止技術・製品を中心に、それらをパッケージとした海外市場への参入に対する支援を行っています。パッケージ化による海外展開の成功には、先見性や現地への適用性の付与など競争力強化のための技術向上、各国の現状に合った参入戦略、現地機関等との人脈を活用したコーディネーション、資金調達の機会の獲得などが鍵であり、これらの実現には様々なノウハウが不可欠となります。　このため、こうしたノウハウを得るための支援サービスを提供できる機関、更には今後、パッケージ化に参画している企業等の海外展開を牽引していただける可能性のある機関を把握することは、今後の中部地域の海外市場展開支援において重要であると考えています。　この目的のため、貴機関ホームページや中部経済産業局がこれまでに実施した同事業にて頂戴しました情報をもとに、ご連絡させていただきました。　貴機関の事業活動ならびにコーディネーションに関するご意向等についての下記のアンケート調査にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。なお、本件は統計処理して集計結果のみを使用しますので、個別情報は一切特定されません。また、情報保護の観点から厳重に管理し、本調査の目的以外に使用することはございません。 |

**◆回答方法**

本アンケート調査票の回答欄に直接ご記入いただくか、下記に記したホームページからダウンロードの上ご記入いただき、**１１月７日（金）**までに、以下のいずれかの方法でご回答ください。

調査票データのダウンロード（Microsoft Word版）はこちらから：

http://www.icett.or.jp/chousa/chousa/h26/h26\_kaigaiq\_or.html

１．郵送：

同封の返信用封筒に封入の上、郵便ポストへご投函ください（切手は不要）。

２．ＦＡＸ：

FAX（059-329-8115）まで、ご送付ください。

３．E-mail：

　　　HPから調査票をダウンロードの上、E-mail添付にてご回答ください。

E-mail宛先：nagai@icett.or.jp（永井）

**【返信及びお問い合わせ先】**

公益財団法人国際環境技術移転センター（略称「ICETT（アイセット）」）

（担当：永井真紀、黒田直子、中丸寛仁）

〒512-1211 三重県四日市市桜町3684番地の11

TEL：059-329-3500　FAX：059-329-8115

E-mail：nagai@icett.or.jp （永井）

**【本調査の趣旨に関するお問い合わせ】**

経済産業省 中部経済産業局 （担当：資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課）

〒460-8510 愛知県名古屋市中区三の丸2丁目5番2号

TEL：052-951-2768　FAX：052-951-2568

なお、中部経済産業局では中部地域の環境ビジネスに取り組む企業を紹介したデータベースを作成しており、これらの掲載企業を当面の連携対象と考えております。下記のサイトより閲覧・ダウンロードが出来ます。

 http://www.chubu.meti.go.jp/kankyo/kankyo\_business.htm#chi\_data

**アンケート調査票**

**◆はじめに、貴機関についてお聞かせ下さい**

|  |  |
| --- | --- |
| **団体名** |  |
| (英名) |
| **所在地** | 〒 |
| **設 立 年** | （西暦） 　　　　　　年 | **従業員数** | 　　　　人 |
| **業　種****（貴機関全体としての分類でお答え下さい。○印は 1つだけ）** | 1. 行政機関2. 業界団体・組合3. 産業振興・企業支援団体４. 試験研究機関５. 金融6. その他（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ） |
| 事業目的 | 1. 公益目的　　　　　　　　　　b. それ以外
 |
| **ご 回 答 者 様****(環境ビジネスや海外展開ご担当者様)** | ご所属： |
| ご役職： | お名前： |
| E-mailアドレス | 　　　　　　　　　　　　@ |
| **電 話 番 号** | ( 　　　) 　　　　－ | ＦＡＸ番号 | ( 　　　) 　　　　－ |
| **ホームページ** | http:// |

**I　貴機関の海外展開の支援体制を教えてください。**

**Q1. 海外展開支援における重点分野を教えてください。（あてはまる記号すべてに○をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 環境（環境保全・環境浄化関連機器・装置・製品等）
2. 輸送機械（部品を含む）
3. （a.以外の）機械（産業用機械、電気機械、機械部品を含む）
4. 化学（医薬含む）
5. 鉄・非鉄・金属製品
6. インフラ（道路、電力など。上下水道や廃棄物処理施設はa.に含む）
7. 電子部品・デバイス
8. 繊維
9. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
10. 特に重点分野を設定していない
 |

**上記回答群の中で、環境関連分野は、重点分野と位置づけていますか。**

|  |
| --- |
| 1. 特に重要
2. 他の重点分野と同等に重要
3. 重点分野ではないが、案件が想定される支援分野
4. 特に意識する分野ではないが、案件があれば支援する
5. 支援の対象外
 |

**Q2. 貴機関の管轄内で、環境分野に何らかの形で関与していると把握されている企業は何社くらいありますか。また、それらの企業が関与されている環境分野と、海外展開の意向について、把握しておられる範囲で教えてください。**

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 管轄内の環境分野に関与している企業数
 | 約 社 |
| 1. 当該企業が関与している環境分野（あてはまる記号すべてに○をつけてください。）
 | 1. 水質（上下水含む） b. 大気 c. 土壌汚染

d. 廃棄物処理・資源リサイクル e. 分析f. 生産工程における省資源・廃棄物発生抑制の取り組みg. 省エネルギー h. 再生可能エネルギーi. その他（　　　　　　　　　　　　　　　 　　　） |
| 1. このうち、海外展開への意向があると考えられる企業数
 | 約 社 |

**Q3. 貴機関における企業の海外展開支援、特に環境分野での支援の体制はどのようになっていますか。担当者人数、支援件数、実施されている支援内容についてそれぞれお聞かせ下さい。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 職員の種類 | 全体の人数（国内外の合計） | 海外展開支援の担当者数（管理職含む） | 環境分野の海外展開支援該当内容（○印） |
| 担当者数合計 | うち、環境分野担当者数 | 環境分野の海外展開の支援を行う件数概算 | 情報提供・紹介 | 技術的助言 |
| 担当職員 | 人 | 人 | 人 | 件/年 |  |  |
| 契約アドバイザー | 人 | 人 | 人 | 件/年 |  |  |

**Q4.　貴機関では環境分野を含む海外展開の支援として、具体的にはどのようなサービスをどのように提供されていますか。「1. サービス内容」欄のあてはまる記号すべてに○印の上、それぞれについて「2. サービス提供者」に表下の一覧からあてはまる数字すべてを記入してください。**

**また、それらのサービスの「3. 対価」について、あてはまる方に○をつけてください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 1. 提供するサービス内容（a, b, c･･･のあてはまる記号すべてに○印をつけて下さい） | 2. サービス提供者（表下の①～⑥から） | 3. 対価 |
| 計画立案・事業準備段階・契約段階 | 1. 海外一般情報の提供（国・地域別の法規制、商習慣等）
 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 海外マーケット情報の提供（産業別、分野別、国別等）
 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 海外の技術ニーズや課題に関する情報の提供
 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 海外情報収集の場の提供

・海外ミッションの実施・海外（在日を含む）政府機関や産業団体の紹介、取次ぎ |  | 有償 | 無償 |
| 1. 事業計画策定支援・FS支援

・事業計画策定に関する研修・個別のアドバイス支援・資金支援（補助金等） |  | 有償 | 無償 |
| 1. 海外実証実験への資金支援
 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 海外販路開拓・拡大支援

・海外展示会出展支援・相手企業等情報提供、紹介・国内外での商談会開催・個別の商談会やマッチング |  | 有償 | 無償 |
| 1. 海外用地獲得支援

・工業用地や工業団地情報の提供・用地獲得手続きの支援 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 社内人材グローバル化支援

・貿易、契約等海外事業実務の研修・海外事業管理者や海外派遣社員向け研修・人材の紹介、斡旋 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 契約交渉・締結支援

・個別の交渉アドバイス支援・知的財産権・法律問題相談窓口 |  | 有償 | 無償 |
| 1. a~hの複数を含む一貫した包括的海外展開支援
 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 他機関（JETRO、中小機構、JICA等）支援事業の活用支援

・他機関の支援事業情報の提供・他機関の支援事業獲得のためのサポート |  | 有償 | 無償 |
| 1. その他、契約段階までの支援

（具体的に： 　　） |  | 有償 | 無償 |
| 事業実施段階 | 1. 輸出入支援

・輸出入ルートの情報提供・輸送手段に関する情報の提供・通関・関税等に関する情報提供・トラブル発生時のアドバイス提供や相談受付 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 決済・代金回収支援

・トラブル発生時の相談窓口 |  | 有償 | 無償 |
| 1. 他機関（JETRO、中小機構、JICA等）支援事業活用支援

・他機関の支援事業情報の提供・他機関の支援事業獲得のためのサポート |  | 有償 | 無償 |
| 1. その他、事業実施段階における支援

（具体的に：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |  | 有償 | 無償 |

**【サービス提供者】**（複数回答可能）

1. 貴機関の職員
2. 貴機関の海外展開アドバイザー
3. 貴機関の海外支所やサポートオフィス等
4. 貴機関とネットワークのある（契約を含む）海外の団体・企業・個人
5. 貴機関と契約している海外展開や法律等の専門家やコンサルタント
6. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

**Q5. 国別に方針を分けて海外展開を行っている場合、「1. 国名」に記載の上、各国について「2. 重点的支援内容や取り進め方等」に記入ください。また、各国において、「3. 環境が重点分野の一つとなっている」場合には、該当箇所に○をつけてください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地域 | 1. 国名 | 2. 重点的支援内容や取り進め方等（具体的に記入して下さい。） | 3. 環境が重点分野の一つになっている（○印） |
| 東アジア |  |  |  |
| 東南アジア、アセアン |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| その他アジア |  |  |  |
| ソ連、東欧、CIS諸国 |  |  |  |
| その他地域 |  |  |  |

**Ⅱ　貴機関として、複数の関連技術の連携による「パッケージ化」による海外展開への支援についてどのようにお考えか、教えてください。**

**Q6. 貴機関として、「パッケージ化」による海外展開への支援について、現状とご意向を教えてください。（あてはまる記号ひとつに○をつけてください。）**

Q7.へ進んでください。

Q9.へ進んでください。

|  |
| --- |
| 1. 既に行っており、今後も積極的に進める
2. 既に行っており、案件が出てくれば今後も取り扱う
3. 現在は行っているが、今後は見合わせる
4. 現時点では行っていないが、関心がある
5. 現時点で行っていないし、今後も関心がない
6. パッケージ化について考えたことがない
 |

**Q7. Q6.でa～dを回答された場合、パッケージ化のためにどのような支援を行っていますか、あるいは考えていますか。（あてはまる記号すべてに○をつけてください。）**

|  |  |
| --- | --- |
| 1) 技術パッケージの構築・連携体制の構築 | 1. パッケージ化を目的とした商談会やマッチングセミナーの開催
2. パッケージ化につながると考えられる技術を有する企業同士の引き合わせや学術機関・公設試験研究機関などの紹介
3. 潜在的に連携可能性のある企業の個別紹介
4. 分野別・技術別研究会等の開催により、パッケージ化の構成要素となりうる技術を持つ企業との交流の場の提供
5. 貴機関主導でのパッケージ化のテーマ設定や企業等連携体制の構築
 |
| 2) 運営 | 1. パッケージ化による複数機関連携体制の中でのコーディネーション、調整
 |
| 3) 技術向上 | 1. パッケージ化による技術の高度化や現地化を目的とした、技術的助言・指導
 |
| 4) その他 | 1. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
 |

**Q8. Q6.でa～dを回答された場合、パッケージの対象となるテーマ、課題、技術などを設定はどのように行っていますか、あるいは想定していますか。（あてはまる記号すべてに○をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 貴機関の職員で検討、設定
2. 貴機関の海外展開アドバイザーからの提案を受けて検討、設定
3. 貴機関の技術アドバイザーからの提案を受けて検討、設定
4. 貴機関の海外支所やサポートオフィス等からの提案を受けて検討、設定
5. 貴機関とネットワークのある（契約を含む）海外の団体・企業・個人からの提案を受けて検討、設定
6. 貴機関と契約している海外展開等の専門家やコンサルタント
7. 貴機関と連携する大学等外部研究機関からの提案を受けて検討、設定
8. 貴機関と連携する公設試験研究機関からの提案を受けて検討、設定
9. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
 |

**Q9. 貴機関が環境分野に特化したパッケージ化を行う場合、どのような産業やテーマで取り組むことができる、あるいは取り組むことが想定されますか。可能な範囲で教えてください。
　「1. テーマ」欄においてあてはまる記号すべてに○印の上、それぞれについて「2. 詳細なテーマ、具体的な技術・課題等」欄に具体的に記入してください。また、お答え頂いたものについて、想定される特定の産業がある場合、「3. 産業」欄に表下の選択肢からあてはまる産業番号をすべて記載してください。**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分野 | 1. テーマ（a,-1, a-2.,･･･のあてはまる記号すべてに○印） | 2. 詳細なテーマ、具体的な技術・課題等 | 3. 産業①～⑭ |
| 水 | a-1. 工場排水処理 |  |  |
| a-2. 一般排水処理 |  |  |
| a-3. 上下水道関係 |  |  |
| a-4. 公共用水域浄化 |  |  |
| a-5. その他水質関係  |  |  |
| 大気 | b-1. 工場からの排ガス対策 |  |  |
| b-2. 民生から大気汚染対策 |  |  |
| b-3. 自動車からの排ガス対策 |  |  |
| b-4. その他大気汚染関係 |  |  |
| 土壌汚染 | c-1. 重金属土壌・地下水汚染の処理 |  |  |
| c-2. 化学物質による土壌・地下水汚染の処理 |  |  |
| c-3. その他土壌・地下水汚染関係 |  |  |
| 廃棄物・資源リサイクル | d-1. 固形廃棄物(汚泥を含む)の燃料化・炭化 |  |  |
| d-2. 固形廃棄物(汚泥を含む)を使用した熱回収・発電 |  |  |
| d-3. 固形廃棄物(汚泥を含む)からの金属回収  |  |  |
| d-4. その他廃棄物処理・リサイクル関係 |  |  |
| 調査・分析 | e. 調査・分析・モニタリング |  |  |
| 生産工程改善 | f-1. 生産工程上における環境負荷低減 |  |  |
| f-2. 生産工程上における有害物質使用削減 |  |  |
| f-3. 生産工程上における資源・エネルギー使用削減 |  |  |
| 省エネルギー | g-1. 省エネ製品・機器 |  |  |
| g-2. 省エネノウハウ |  |  |
| g-3. その他省エネ関係 |  |  |
| 再生可能エネルギー | h-1. バイオマスの燃料化 |  |  |
| h-2. バイオマス発電 |  |  |
| h-3. その他の再生可能エネルギー関係 |  |  |
| その他 | i. その他の技術・サービス |  |  |

【産業番号】（複数回答可能）

1. 食料品・飲料製造業　　　　　　　　　 　　　　 ② 繊維工業
2. パルプ・紙・紙加工品製造業　　　　　 　　　 　④ 化学工業
3. 製油産業　　　　　　　　　　　　　　　　 　　⑥ 石油製品・石炭製品製造業

⑦ ゴム製品製造業　　　　　　　　　　　　　　　　⑧ なめし革・同製品・毛皮製造業

⑨ 鉄鋼業　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑩ 金属製品製造業

⑪ 電子部品・デバイス・電子回路製造業　　　　　　⑫ 電子機械器具製造業

⑬ 廃棄物処理業　　　　　　　　　　　　　　　　　⑭ その他（　　 　　　 　　　　　　　　　　　　）

⑭ その他２（　　　　　　　　　　　　）　⑮ その他３（　　　　　　　　　　　　　　）

**Q10. 貴機関において、環境分野でのパッケージ化による海外展開を行っていますか。（あてはまる記号ひとつに○をつけてください。）**

Q11.へ進んでください。

Q10-2.へ進んでください。

Q10-1.へ進んでください。

|  |
| --- |
| 1. 既に行っており、今後も積極的に進める
2. 既に行っており、案件が出てくれば今後も取り扱う
3. 現在は行っているが、今後は見合わせる
4. 現時点では行っていないが、関心がある
5. 現時点で行っていないし、今後も関心がない
6. パッケージ化について考えたことがない
 |

**Q.10-1. Q10でa～cに回答された場合、その経験、実績があれば、「1. テーマ」にQ10.の『1. テーマ』」からあてはまる記号を、また、「2. 対象国・地域名」を記入の上、「3. 具体的なパッケージ化の内容や実績」を記入してください。**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 1. テーマ(Q10の記号でお答え下さい。) | 2. 対象国・地域名 | 3. 具体的なパッケージ化の内容や実績（具体的な技術の内容、企業名（数）、相手国での活動実績や成果、支援後の展開等） |
|  |  |  |
|  |  |  |

**Q10-2. Q10でa~dに回答された、これまで又は現在実施中の、環境分野でのパッケージ化による海外展開の内容についてお尋ねします。パッケージ化による事業そのものはどの段階まで進められていますか。（あてはまる記号すべてに○印をつけてください。）**

|  |
| --- |
| 1. 着想段階
2. 情報収集段階（テーマ設定のための情報、企業情報等）
3. パッケージ構築段階（企業マッチング、研究会開催等）
4. 技術改良段階（改良、実証実験等）
5. 海外展開準備段階（対象国選定、情報収集、戦略策定等）
6. 海外での商談会実施段階
7. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
 |

**【全員におうかがいします。】**

**Q11.今後、中部経済産業局による環境ビジネスの海外展開を見通したパッケージ化のためのセミナーやマッチング会、あるいは研究会を開催する場合、参画にご関心はありますか。**

|  |
| --- |
| 1. 積極的に参画したい
2. 機会があればなるべく参画したい
3. 参加企業名やテーマを勘案して都度検討したい
4. 当面考えてない
 |

**（上記に関するご意見、コメント。特に、貴機関内での事業計画とのバランスなどについてお聞かせ下さい。）**

|  |
| --- |
|  |

**Ⅲ　お知らせとお願い**

　中部地域の環境ビジネス支援のためのメールマガジンを公益財団法人国際環境技術移転セン

ターより配信しております(発行頻度：月1回程度)。貴機関のご登録をお待ちしております。

　お手続きは右のサイトよりお願いいたします　http://www.icett.or.jp/moushikomi/merumaga1.html

　以上でアンケートは終了です。ご多忙のところご協力をいただき、誠にありがとうございました。

お手数ですが１１月７日(金)までに、ご返信願います。